



Butakoke 隊長
比留川実さん

Butakoke ロケ部会リーダー
斉藤隆訓さん

Butakoke グルメ部会リーダー
大久保豊さん



**綾瀬ロケーションサービス
官民一体で映画やドラマなどの撮影を受け入れ中**

綾瀬ロケーションサービスは、平成26年4月に、市民などで結成した「あやせ市ブタッコリ〜ロケ隊（通称：Butakoke隊）」と市で組織されました。市の知名度向上と地域の活性化を目的に、映画やドラマなどの撮影を誘致しており、エキストラの手配やロケ候補地の募集も行っています。また、撮影の誘致のみに留まらず、ご当地グルメの開発やロケ地巡りを楽しめるロケ地MAPの制作、全国で初めてのシーン写真入りロケ地看板の設置など、ロケ地を活用した観光にも力を入れています。

綾瀬市制施行40周年記念事業

●「綾瀬ロケーションサービスシンポジウム」開催

沖縄国際映画祭に出品する映画（後述）の出演者（広報あやせ12月15日号で発表）と市長などとのパネルディスカッション、これまでの同サービスの取り組み内容の紹介などを予定しています。同映画の予告編も上映します。ご当地グルメ第2弾の試食もあります。

📅2月3日(日)13時～16時30分📍オーエンス文化会館定1300人(申込順。座席番号は後日、同サービスが指定)📍同サービス、綾瀬市商工会📅12月3日～来年1月9日に氏名(ふりがな)、年齢、住所、電話番号、希望席数を〒252-1192市役所商業観光課へ郵送、MAIL wm.705685@city.ayase.kanagawa.jpか☎70・5685(消印有効。郵送とメールは「ロケシンポジウム申込」と要明記)

●本市舞台の短編映画を制作 沖縄国際映画祭に出品

同サービスや(株)よしもとクリエイティブ・エージェンシーなどで構成する(仮称)映画製作実行委員会において、綾瀬市を舞台にした地域発信型映画(短編映画)を制作することが決定しました。

制作した作品は、4月に、同映画祭に出品し、上映されます。詳しくは、市ホームページで随時発信していくので、確認してください。



「綾瀬ロケ地MAP」を毎年制作。地図を見ながらのロケ地巡りが好評です。

ロケ候補地、エキストラの募集

映画やドラマなどの撮影にご協力いただけるエキストラやロケ候補地を募集しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。



特集 **「ロケ地」&「おいしいグルメ」で綾瀬をもっと元気に!**

📍商業観光課 ☎70・5685

平成26年4月、地域の活性化を進めるため、市と市民組織・あやせ市ブタッコリ〜ロケ隊(通称・Butakoke隊)が「綾瀬ロケーションサービス」を立ち上げました。ロケ地としての綾瀬の魅力、地元の食材を使ったグルメを広く発信し、多くの人に綾瀬を訪れてほしいとの思いで日々活動、今、その成果が実りつつあります。「市民参加で元気なまちづくりを」という3人の方に、その熱き思いを語ってもらいました。(文中敬称略)

「あやせ商業者パワーアッププロジェクト」から誕生

比留川 Butakoke隊結成の前に、綾瀬を元気にしたいという思いを持った

地域の仲間が集まり、「あやせ商業者パワーアッププロジェクト」ができました。1年間話し合いを重ね、「ロケ地」と「グルメ」でまちを盛り上げようということになったのです。組織名を市の公認キャラクター・ブタッコリ〜とからめ、「Butakoke隊」とし、ロケ部会とグルメ部会に分かれ、現在20人ほどが活動しています。

斉藤 正直言って、綾瀬の知名度はイマイチ。ロケ地として存在感を高めることが効果的ではないかと考えました。行政と一緒に活動していくということも大きな力になったと思います。

大久保 ロケ誘致とグルメ開発を進めていく中で、撮影隊が来たときに綾

瀬のおいしいものを提供できないかということから、初めはロケ弁を作ろうということになりました。野菜入り、肉入りと、いろいろ考える中、何かメインとなるものを作ろうということになり、「コロッケは?」「メンチカツは?」「メンチなら中に何を入れる?」と議論と試作を重ねました。

比留川 メンチの具材としてブルーベリー(!?)、チーズ、味噌など30品目ぐらいが候補になり、市民や議員、市職員による試食を重ねましたよね。

大久保 試行



錯誤の末、綾瀬の郷土料理である「豚すき」を使ったメンチ、「あやせとんすきメンチ」に決まりました。汁気が多いので商品化にはかなり苦労しましたね。白滝も当初は食べやすく細かくしたのですが、フードコーディネーターから「長い方がインパクトがある」とアドバイスを受け、長めの白滝が入っています。

斉藤 食べると白滝が口からはみ出します(笑)。でもそこが「とんすきメンチ」らしいところですよ。

大久保 市内産の豚肉はもちろん、長ネギ、ゴボウなど地場産の食材をふんだんに使っています。もちろん綾瀬でしか食べることができない味ですよ。

「ロケのまち綾瀬」を魅力として

斉藤 これまで数々の映画やドラマなどが綾瀬で撮影



されました。悩みはロケがあることを事前に皆さんへお伝えできないこと。私たちの役割は、ロケがスムーズに行えるようサポートすることです。撮影情報に関することは公にはできません。その信頼関係があるからこそ続いていると思いますので、ぜひご理解いただきたいですね。ロケ地になった場所にはシーン写真入り看板を設置している箇所があり、ロケ地巡りなどで楽しんでいただければと思います。

ときには飛び込みで問い合わせが入り、2、3日に対応しないといけない撮影もあります。そんなときは時間がない中で仕事の都合がつく者が集まり、場所探しや撮影現場での警備などに当たります。

大久保 ロケとグルメをきっかけに、綾瀬の良さを再発見し、皆さんに「綾

瀬ってすごいんだぞ」と思ってもらえたら最高ですね。

比留川 Butakoke隊メンバーは、農業者、商業者、工業者などさまざま。一般公募で集まった「綾瀬をもっと魅力あるまちにしよう」という純然たるボランティア組織で、みんな手弁当です(笑)。
斉藤 結成して5年。ロケ地には、シーン写真入り看板が立つ。おかげさまで「ロケをするなら綾瀬がいい」と制作者の中での評価も高まり、全国区で「ロケのまち綾瀬」の名前が少しずつ知られるようになりました。

特に、撮影時の市民の皆さんのマナーの良さは好評です。撮影隊は、写真などを撮影されたり、騒がれたりすることを好まないのです。

比留川 多くの方がロケで盛り上がる綾瀬を訪れ、季節や風土を知り、おいしいものに舌つづみを打ち、満足して帰っていただければこれほどうれしいことはありません。

3年かけて開発を進めてきたご当地グルメ「あやせとんすきメンチ」。販売から2年半で5万個が売れる人気商品に成長。